

すべての一年生にエールを。

時代が大きく動いてます。

1年生の皆さんには、
少し厳しいデビューかもしれません。

人間関係がうまく行かない時。

大切な人と離れてしまう時。

仕事で苦しい時。

誰とも話したくない、そんな時に
歌を口ずさんでいる自分がいる。

流行りの音楽かもしれないし
母校の校歌かもしれない…。

誰もみな、「自分だけの応援歌」があるのではないか。
歌には人を勇気づけ、前へと進める力があると思います。

関彰商事は、すべての1年生にエールを送ります。

関彰商事の社歌(1973年発表)を作曲頂いた作曲家“古関 裕而氏”は、連続テレビ小説『エール』の主人公のモデルとなっています。

関彰商事社歌

作曲：古関裕而 / 作詞：藤浦 洸

仰ぐ 英気の 筑波山
流れは清き 鬼怒川の
関東平原 夢多く
同じ志の 若人の
あふるる熱意 ここにあり
関彰 関彰 関彰商事
われらは誇る 高らかに

瞳正しく 眉貴く
開祖の理想 受け継ぎて
日毎の努力 たゆみなく
もゆる生命の 若人の
搖るがぬ誠意 ここにあり
関彰 関彰 関彰商事
われらは叫ぶ 高らかに

深き理念の 旗のもと
互に誓う 郷土愛
人と世のため ひたすらの
足並そろう 若人の
前進飛躍 ここにあり
関彰 関彰 関彰商事
われらは謳う 高らかに

The musical score consists of three staves of music in G clef, 2/4 time, and a key signature of one flat. The lyrics are written below each staff, corresponding to the melody. The first staff covers the first section of the lyrics, the second staff covers the second section, and the third staff covers the third section.

1. あーおぐえい一きのつくばさんながれはき一一よききぬーがわの
2. ひーとみただーしくまゆたかくかいそのりーそううけーつぎて
3. ふーかきりねーんのはたのもとたがいにちーかうきようーどあい
かんーとうー
ひごーとの
ひーとと

へいーげんゆめおおくおなじここーろのわこうーどのあふるーるねつ
どーりょくたゆみなくもゆるいのーちのわこうーどのゆるがーぬせいい
よのーためひたすらのあしなみそーろうわこうーどのぜんしーんひやく

ここにあーりーせきしようせきしようせきしようーしようーーじわれらはほこーるたからかーに
ここにあーりーせきしようせきしようせきしようーしようーーじわれらはさけーぶたからかーに
ここにあーりーせきしようせきしようせきしようーしようーーじわれらはうたーうたからかーに